

在宅医療に関するアンケート調査 報告書（概要版）



平成27年11月

小諸北佐久医療・介護連携推進協議会

I. 本調査の概要

1. 目的

この調査は、在宅医療の現状認識や提供状況（質、量）やネットワーク（連携等）の状況等を把握し、在宅医療推進における課題を明確化し、今後の在宅医療推進のための基礎資料として活用するために実施した。

2. 調査対象

(1) 住民

小諸市・軽井沢町・立科町在住の満40歳以上の男女3,750人（小諸市：2,700人、軽井沢町：750人、立科町：300人）を住民基本台帳データから無作為抽出。
宛先不明などで返送のあった28件を除いた3,722件を対象とした。

(2) 医療・介護関係者

① 診療所医師

小諸北佐久医師会の診療所医師37件を対象とした。

② 病院管理者

小諸北佐久地域の病院5件を対象とした。

③ 歯科診療所・病院歯科

北佐久歯科医師会の歯科診療所及び病院歯科の歯科医師43件を対象とした。

④ 調剤薬局

小諸北佐久薬剤師会の薬剤師40件を対象とした。

⑤ 訪問看護ステーション

小諸北佐久地域の訪問看護ステーション4件を対象とした。

⑥ 居宅介護支援事業所

小諸北佐久地域の居宅介護支援事業所のケアマネージャー19件を対象とした。

⑦ 介護サービス事業所（福祉用具・福祉タクシー事業所を除く）

小諸北佐久地域の介護サービス事業所78件を対象とした。

3. 調査期間

平成27年7月1日～平成27年7月31日

4. 調査方法

郵送による配布回収

5. 集計・分析

回収した調査票の集計・分析及び本報告書の作成については、一般社団法人長野県農協地域開発機構に委託した。

6. 回収結果

(1) 住民

	配布数(通)	回収数(通)	回収率(%)
小 諸 市	2,700	1,268	47.0
軽井沢町	750	333	44.4
立 科 町	300	158	52.7

(2) 医療関係者（アンケート協力施設数）

対象	回収数(通)
診療所	21
病院	4
歯科診療所・病院歯科	23
調剤薬局	40
訪問看護ステーション	4
居宅介護支援事業所	14
介護サービス事業所	62



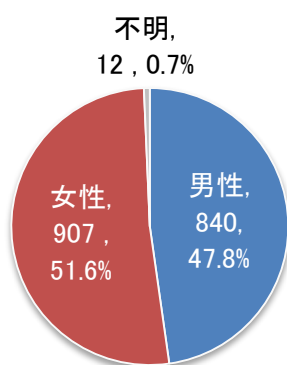
Ⅱ. 住民用アンケート集計結果

i. 回答者の属性

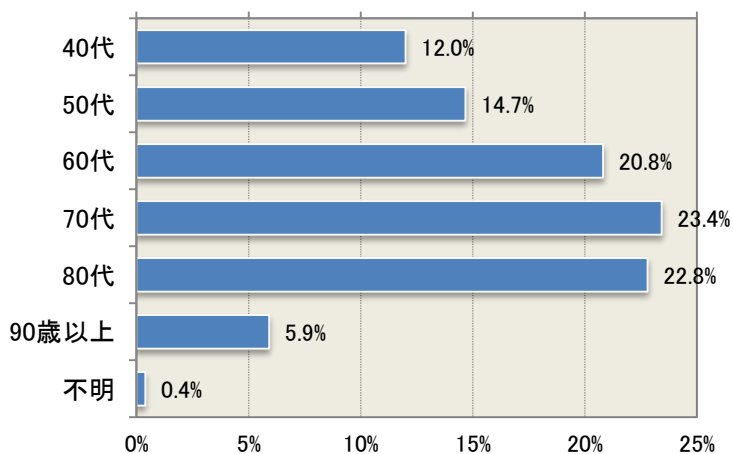
1. 性別、年代、世帯状況

- 回答者の総数は 1,759 人（小諸市：1,268 人、軽井沢町：333 人、立科町：158 人）。
- 性別では、女性がやや多く、年代では 60 代・70 代・80 代が 2 割を超えており、次いで 50 代が 15%、40 代が 12%、90 歳以上が 6%となっている。
- 世帯状況は、夫婦 2 人暮らしが約 1/3 で最も多く、二世帯世帯は約 1/4、次いで単身世帯が 17%、三世帯世帯が 11%となっている。

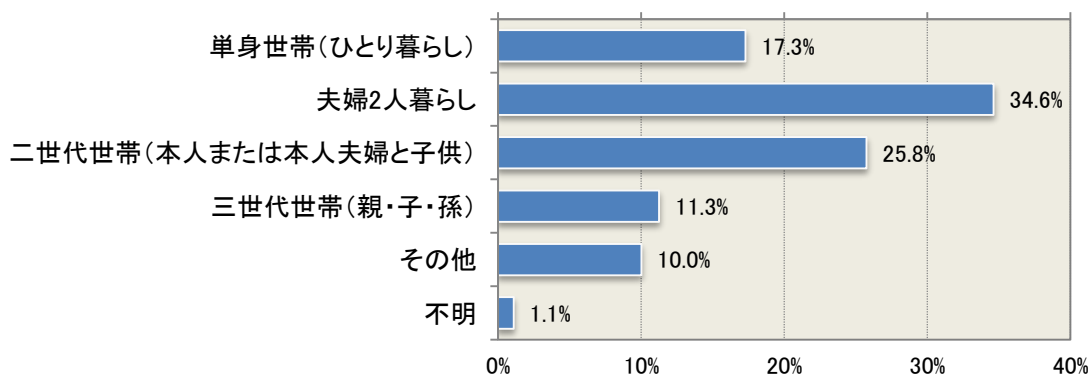
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 世帯状況



2. 居住地区

【小諸市】

	件数	(全体)%	(除不)%
大里	102	8.0	9.0
西小諸	120	9.5	10.6
川辺	65	5.1	5.7
三岡	138	10.9	12.2
南大井	171	13.5	15.1
中央	316	24.9	27.9
北大井	221	17.4	19.5
不明	135	10.6	
計	1,268	100	1,133

【立科町】

	件数	(全体)%	(除不)%
南部	58	36.7	38.4
西部	48	30.4	31.8
東部	40	25.3	26.5
蓼科	5	3.2	3.3
不明	7	4.4	
計	158	100	151

【軽井沢町】

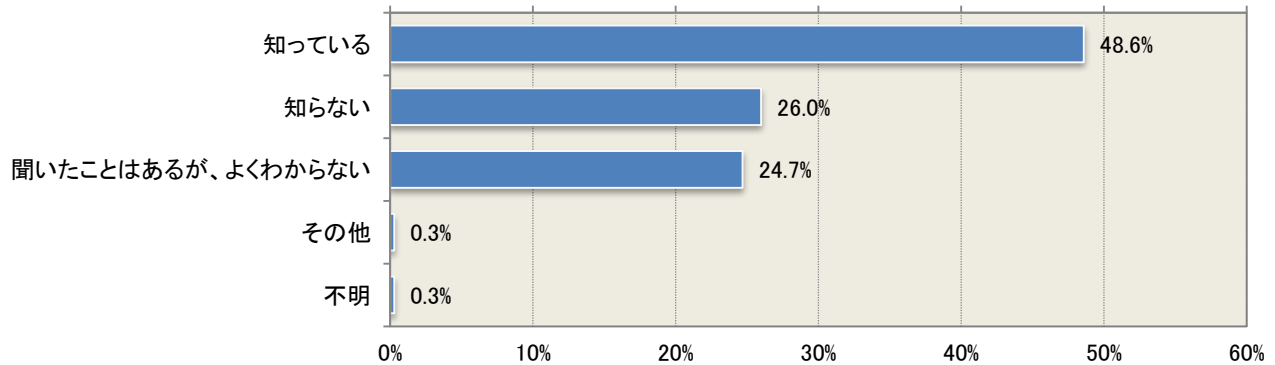
	件数	(全体)%	(除不)%
峠町	0	0.0	0.0
小瀬	0	0.0	0.0
旧軽井沢	27	8.1	8.2
新軽井沢	32	9.6	9.7
成沢	6	1.8	1.8
南ヶ丘	5	1.5	1.5
南軽井沢	7	2.1	2.1
塩沢	9	2.7	2.7
離山	7	2.1	2.1
中軽井沢	70	21.0	21.3
古宿	11	3.3	3.3
星野	1	0.3	0.3
塩壺	0	0.0	0.0
千ヶ滝中	2	0.6	0.6
千ヶ滝西	10	3.0	3.0
借宿	31	9.3	9.4
大日向	9	2.7	2.7
追分	42	12.6	12.8
三ツ石	6	1.8	1.8
鳥井原	13	3.9	4.0
油井	2	0.6	0.6
馬取	6	1.8	1.8
上発地	6	1.8	1.8
下発地	7	2.1	2.1
杉爪	5	1.5	1.5
茂沢	6	1.8	1.8
浅間台団地	1	0.3	0.3
風越団地	1	0.3	0.3
ニュータウン	5	1.5	1.5
つくしヶ丘	2	0.6	0.6
わからない	0	0.0	0.0
不明	4	1.2	1.2
計	333	100	329

ii. 集計結果

1. 在宅医療について

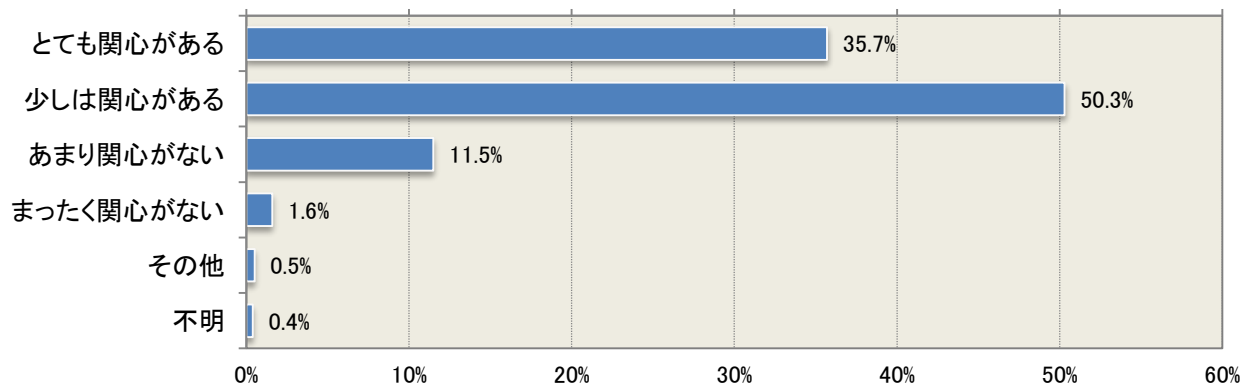
(1) 在宅医療に取り組んでいる医療機関があることを知っていますか（単数回答）

- 全体では5割近くの方が「知っている」と回答しており、「知らない」と「聞いたことはあるが、よくわからない」が1/4程度となっている。
- 市町別では、「知っている」人の多い順に立科町、小諸市、軽井沢町となっている。
- 性別にみると、女性の方が「知っている」割合が高くなっている。



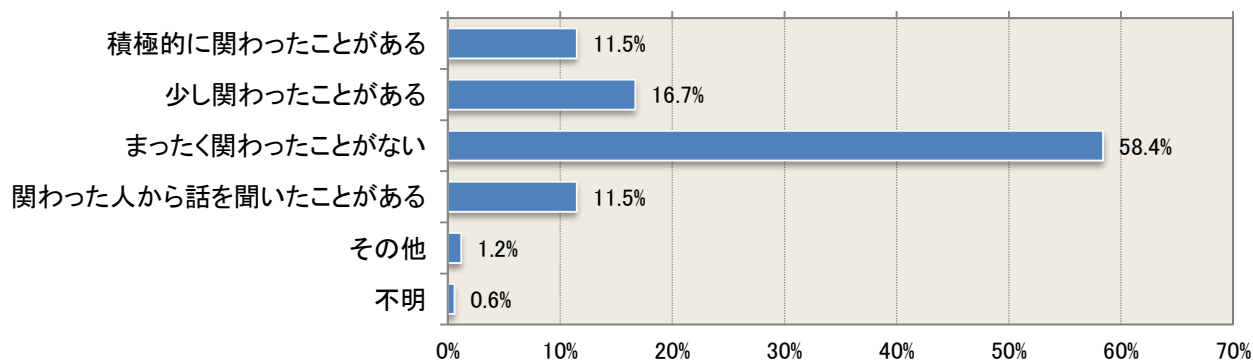
(2) 在宅医療について関心がありますか（単数回答）

- 全体では「少しは関心がある」が約5割、「とても関心がある」が4割弱となっている。
- 年代が高いほど関心が高く、40代など年代が低いほど関心が低くなる傾向が見られる。



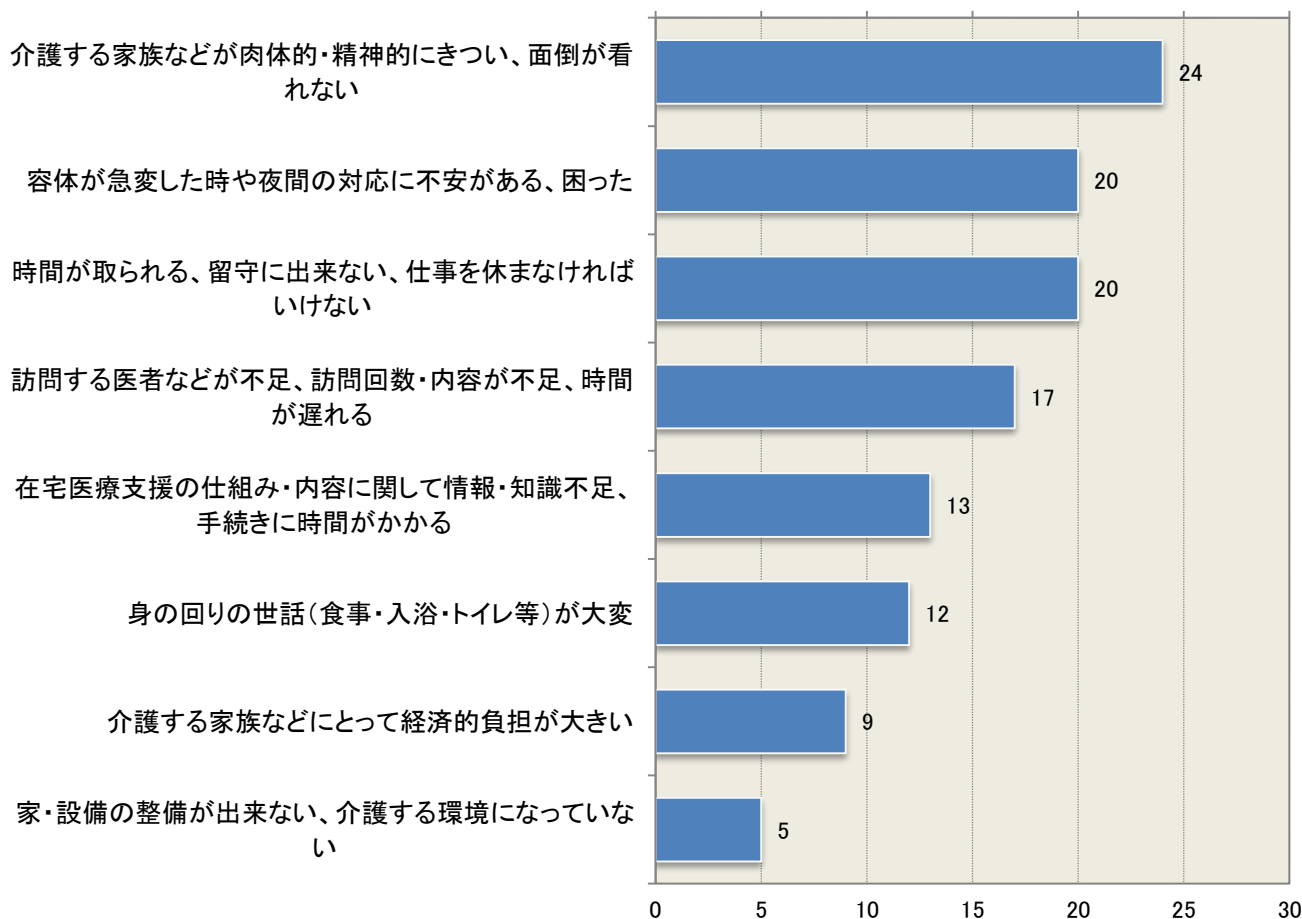
(3) 患者家族の立場として在宅医療に関わったことがありますか（単数回答）

- 全体では「まったく関わったことがない」が6割弱で最も多く、次いで「少し関わったことがある（17%）」となっている。
- 積極的に関わった割合が高いのは、女性、90歳以上の高齢者、単身世帯となっている。



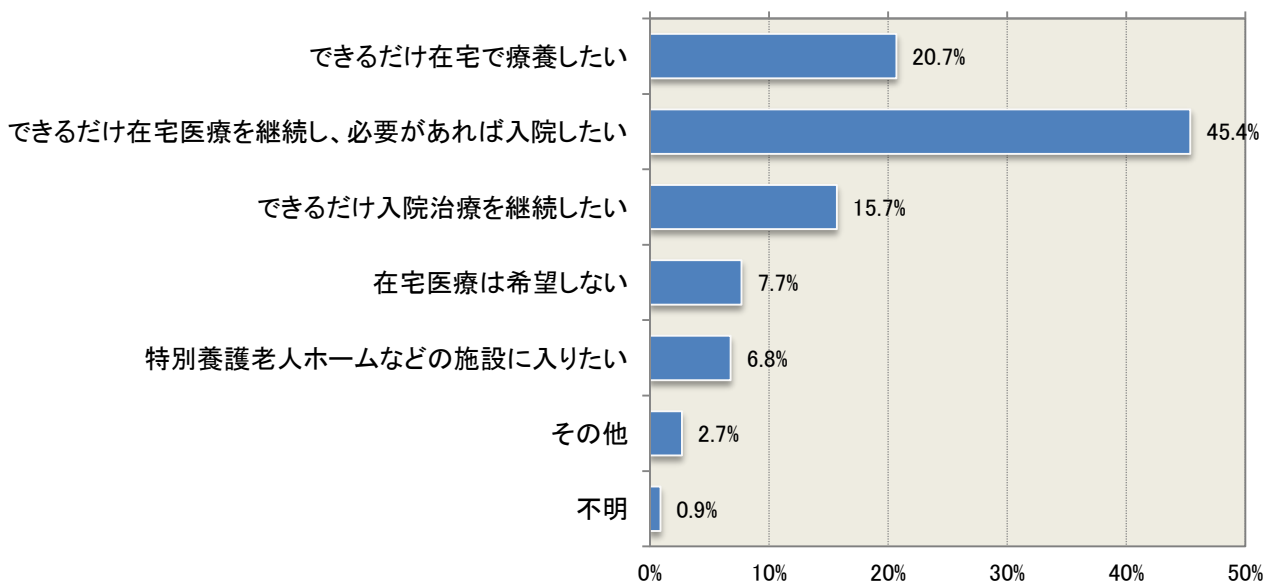
(4) 在宅医療を受ける中で困ったことがありましたか（(3)で「積極的に関わったことがある」または「少し関わったことがある」と回答した人／自由記入）

- 主な意見を整理してみると、「介護する家族などが肉体的・精神的にきつい、面倒が看れない」、「容体が急変した時や夜間の対応に不安がある、困った」、「時間が取られる、留守に出来ない、仕事を休まなければいけない」などの声が多く寄せられた。



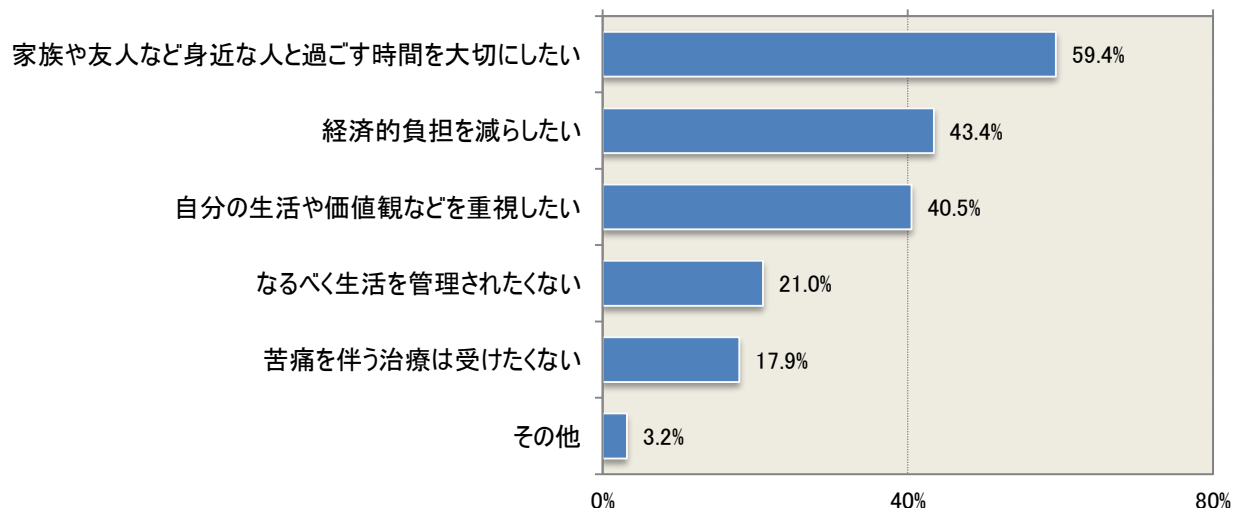
(5) あなたが、入院しなくても治療・療養が自宅等で継続できる場合は、訪問診療してくれる医師や訪問看護師などから、在宅で医療を受けることができれば、在宅医療を望みますか（単数回答）

- 全体では「できるだけ在宅医療を継続し、必要があれば入院したい」が45%で最も多く、次いで「できるだけ在宅で療養したい（21%）」、「できるだけ入院治療を継続したい（16%）」などとなった。
- 大きな違いは見られないが、女性よりも男性の方が在宅医療を望む傾向が見受けられる。



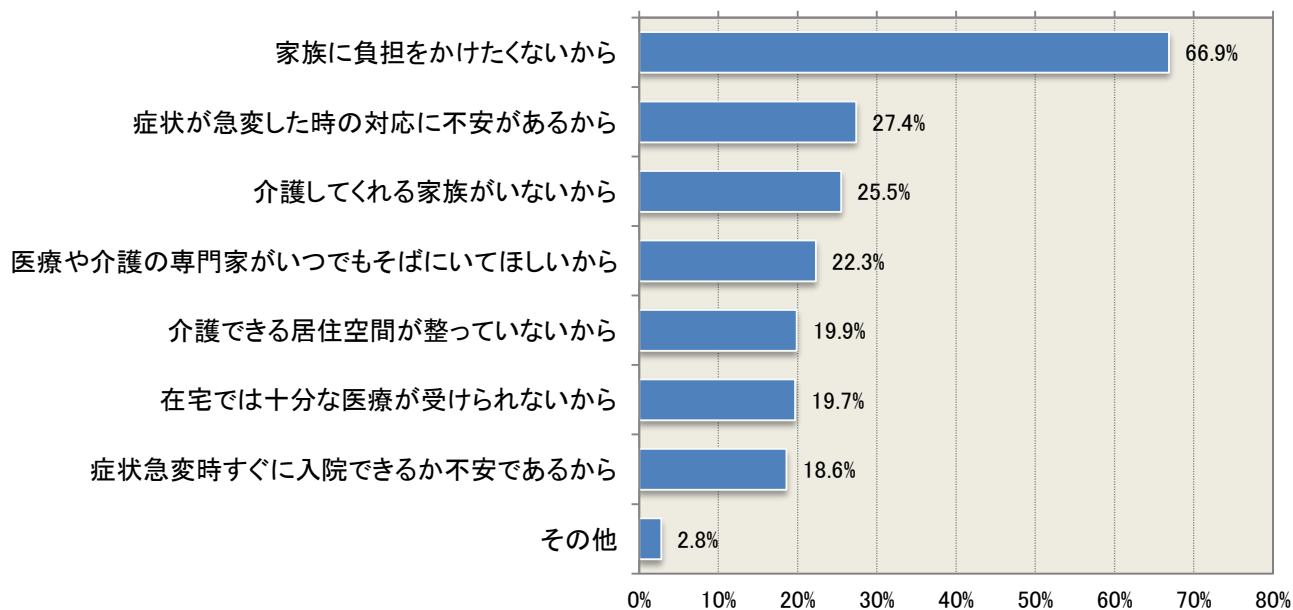
(6) 在宅医療を希望する理由はどんなことでしょうか（(5)で「できるだけ在宅で療養したい」または「できるだけ在宅医療を継続し、必要があれば入院したい」と回答した人／複数回答）

- 全体では「家族や友人など身近な人と過ごす時間を大切にしたい」が6割近くで最も多く、次いで「経済的負担を減らしたい（43%）」、「自分の生活や価値観などを重視したい（41%）」などとなった。
- 「家族や友人など身近な人と過ごす時間を大切にしたい」という意向は二世帯・三世帯世帯で高く、「経済的負担を減らしたい」という意向は40代・50代や二世帯・三世帯世帯で高くなっている。



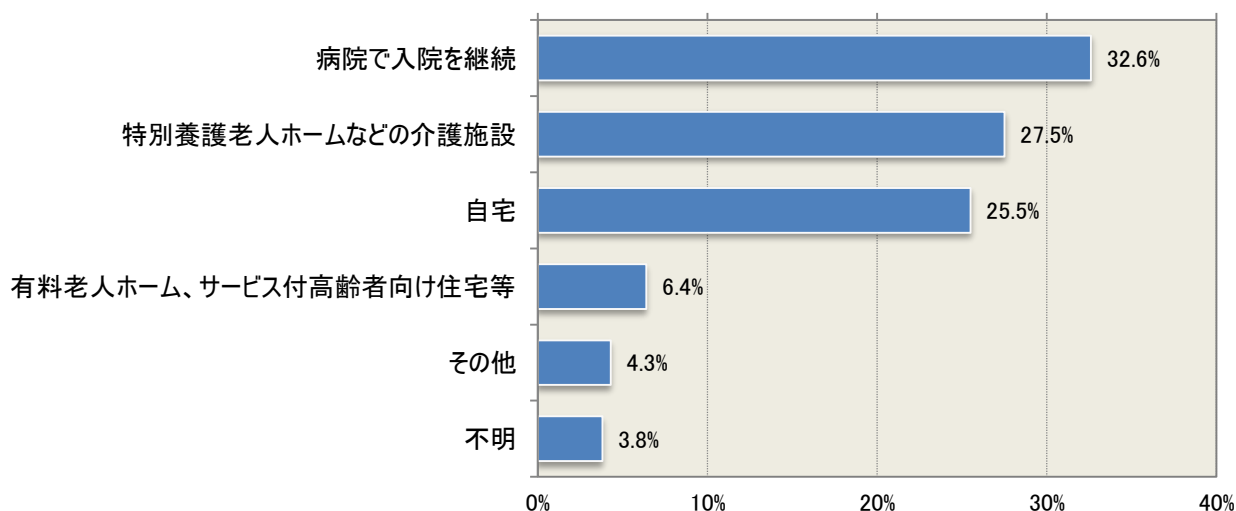
(7) 在宅医療を希望しない理由はどんなことでしょうか(5)で「できるだけ入院治療を継続したい」または「在宅医療は希望しない」または「特別養護老人ホームなどの施設に入りたい」と回答した人／複数回答)

- 全体では「家族に負担をかけたくないから」が67%で圧倒的に多く、次いで「症状が急変した時の対応に不安があるから(27%)」、「介護してくれる家族がないから(26%)」、「医療や介護の専門家がいつでもそばにいてほしいから(22%)」、「介護できる居住空間が整っていないから(20%)」、「在宅では十分な医療が受けられないから(20%)」などとなった。
- 「家族に負担をかけたくないから」という意向は40代・50代や二世帯・三世帯世帯で高くなっている。



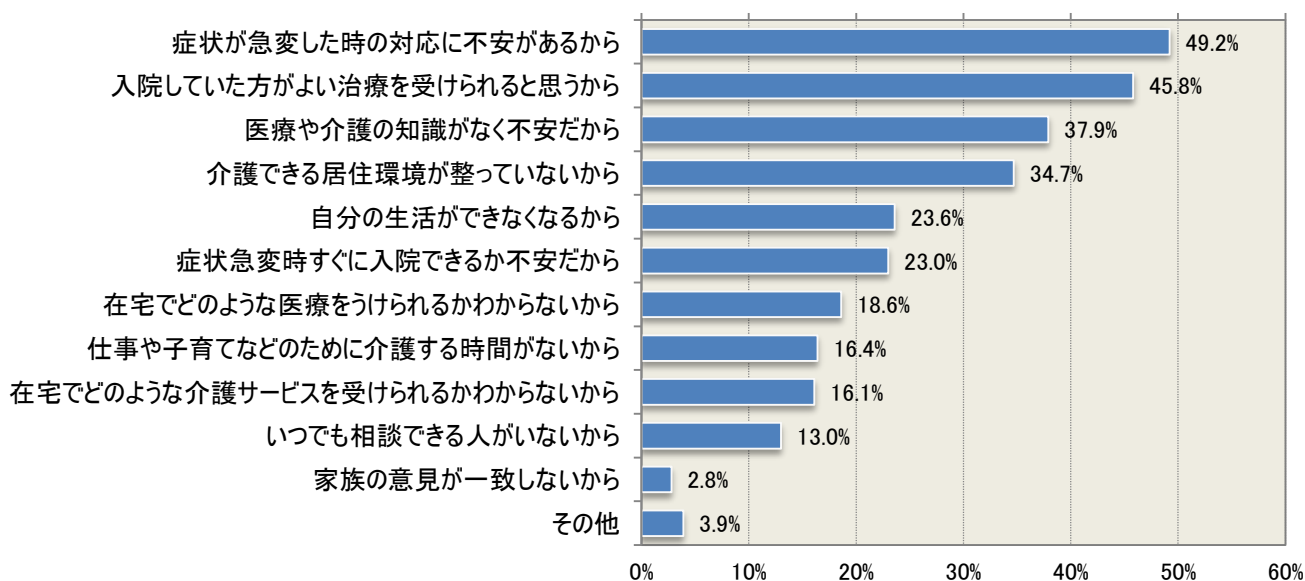
(8) あなたの家族が、脳卒中の後遺症などで医療や介護が必要な状態になった時、主にどこで過ごしてもらいたいですか（単数回答）

- 全体では「病院で入院を継続」が 33%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設（28%）」、「自宅（26%）」などとなっており、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等」は6%で少くなっている。
- 「病院で入院を継続」という回答は、年齢が高くなると共に回答比率も高くなる傾向が見受けられる。



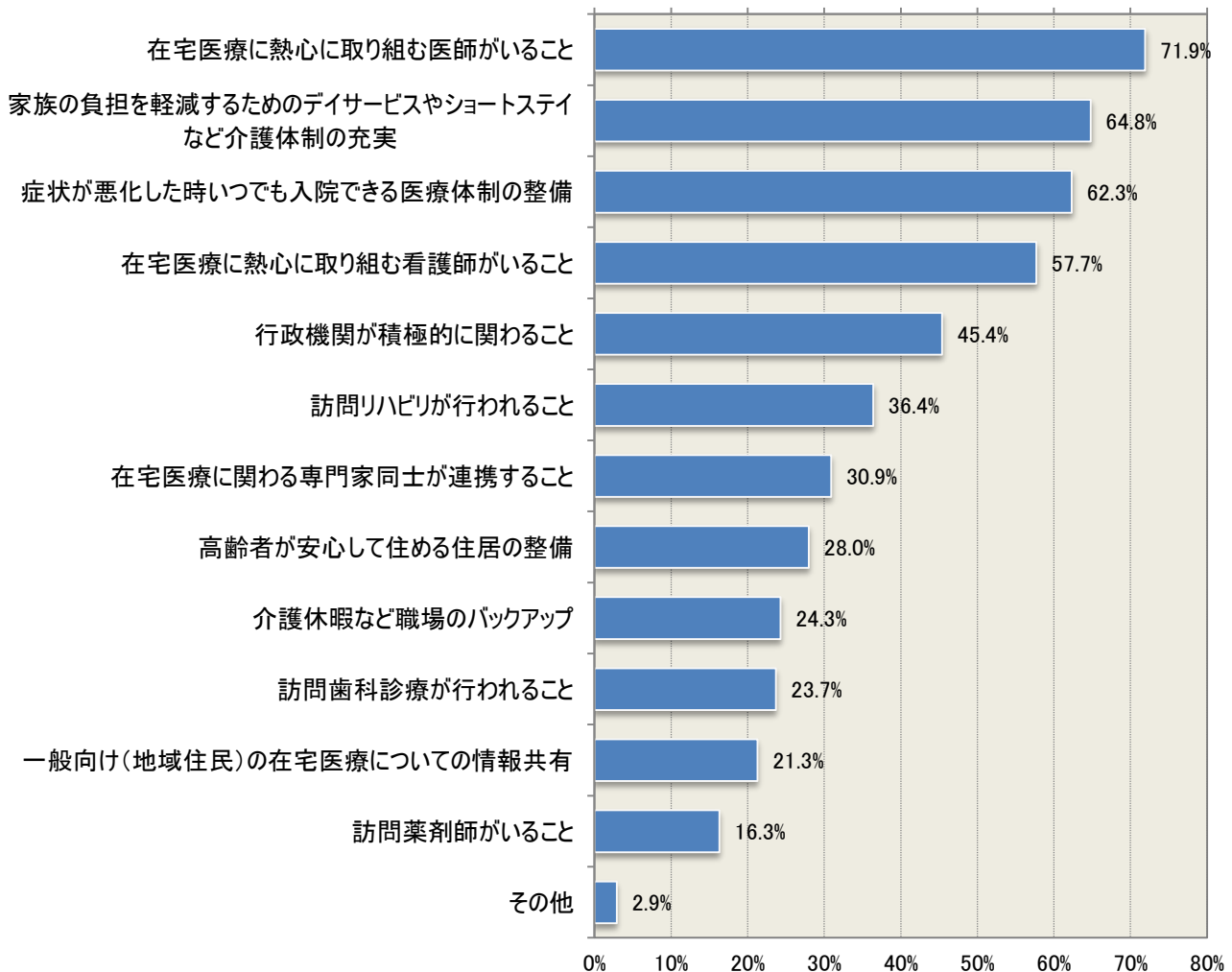
(9) 自宅以外で過ごしてほしい理由はどんなことでしょうか（(8)で「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等」または「特別養護老人ホームなどの介護施設」または「病院での入院を継続」と回答した人／複数回答）

- 全体では「症状が急変した時の対応に不安があるから」が 49%で最も多く、次いで「入院していた方がよい治療を受けられると思うから（46%）」、「医療や介護の知識がなく不安だから（38%）」、「介護できる居住環境が整っていないから（35%）」などとなっている。



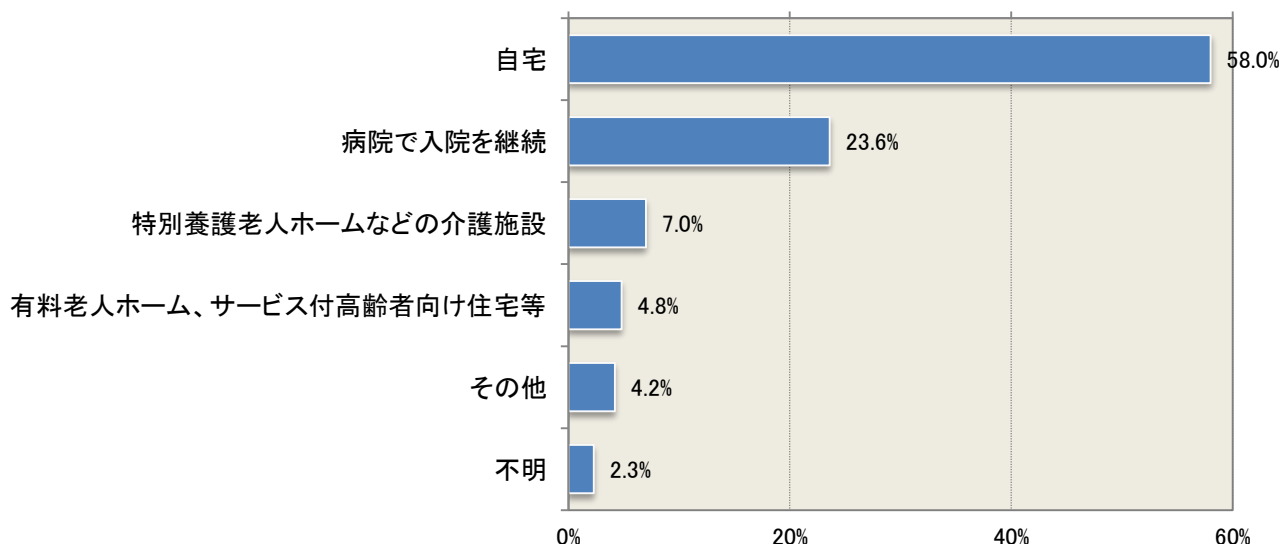
(10) 今後、在宅医療が進むためにはどのようなことが必要だと思いますか（複数回答）

- 全体では「在宅医療に熱心に取り組む医師がいること」が72%で最も多く、次いで「家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなど介護体制の充実（65%）」、「症状が悪化した時いつでも入院できる医療体制の整備（62%）」、「在宅医療に熱心に取り組む看護師がいること（58%）」などとなっている。



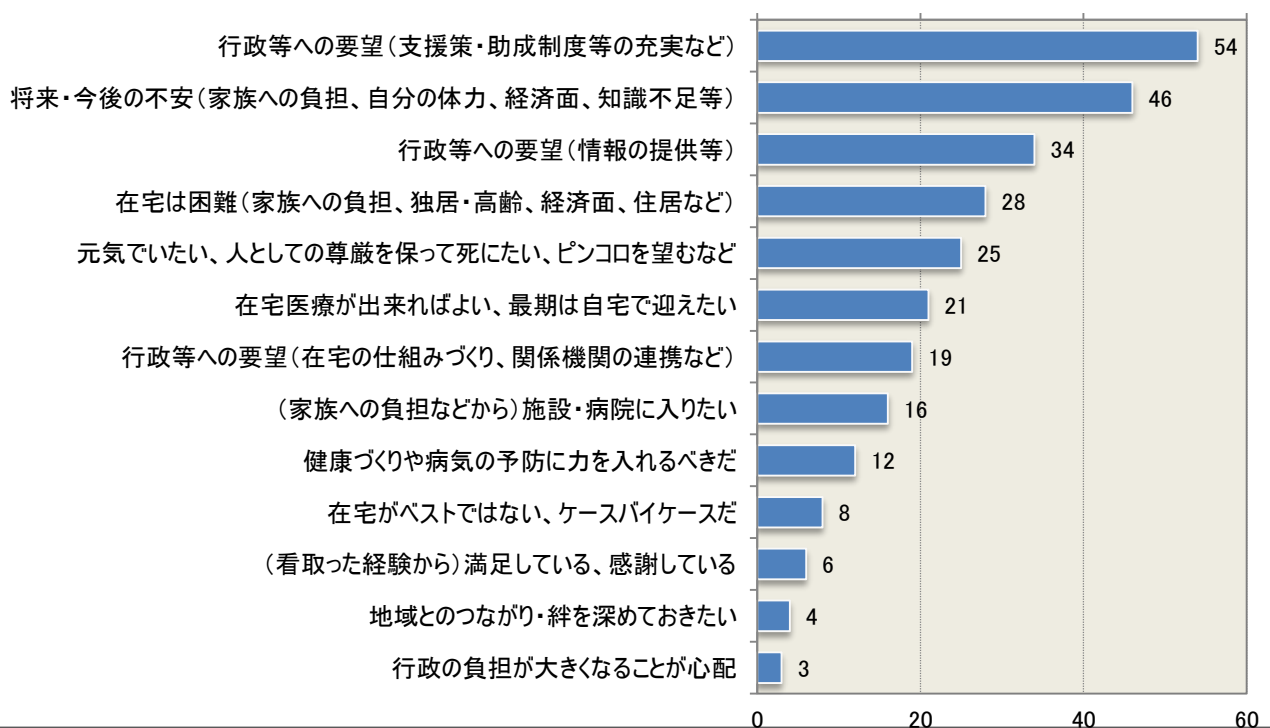
(11) もしあなたが人生最期を迎えることになったら、どこで迎えたいと思いますか（単数回答）

- 全体では「自宅」が58%で最も多く、次いで「病院で入院を継続（24%）」などとなった。
- 「特別養護老人ホームなどの介護施設（7%）」、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等（5%）」などは1割以下となっている。
- 「自宅」という回答は、立科町、男性、年齢に比例して、また三世帯世帯で高くなっている。



(12) 在宅医療についての意見（自由記入）

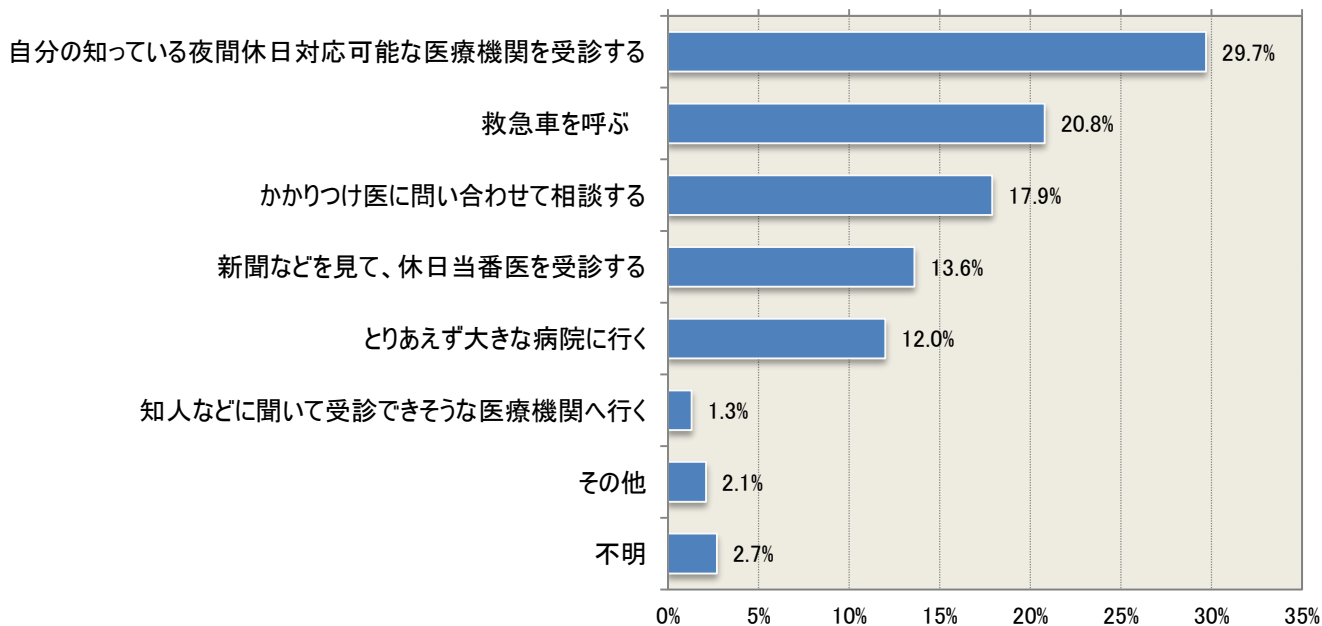
- 主な意見を整理してみると、行政等への要望が多く寄せられ、その内容は「支援策・助成制度等の充実」に関するもの、「情報提供」に関するもの、「在宅の仕組みづくり、関係機関の連携など」に関するものなどに分類された。
- さらに「将来・今後の不安（家族への負担、自分の体力、経済面、知識不足等）」や「在宅は困難（家族への負担、独居・高齢、経済面、住居など）」の声が多く見受けられた。



2. 救急医療について

(1) 夜間・休日に体調不良になった場合、あなたはどのように対応しますか（単数回答）

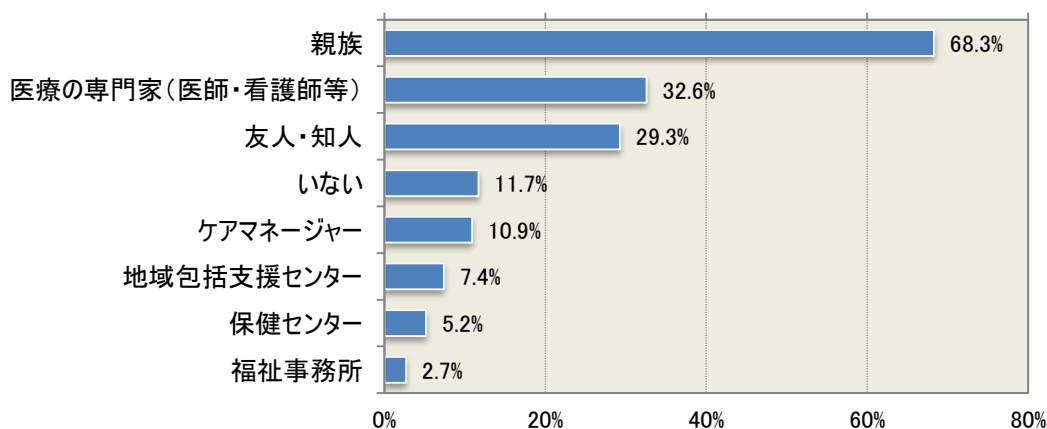
- 全体では「自分の知っている夜間休日対応可能な医療機関を受診する」が3割で最も多く、次いで「救急車を呼ぶ（21%）」、「かかりつけ医に問い合わせせて相談する（18%）」などとなった。
- 年代が高くなるにつれて高くなる傾向が見られるのが「救急車を呼ぶ」と「かかりつけ医に問い合わせせて相談する」であり、逆に年代が低いほど高くなるのは「自分の知っている夜間休日対応可能な医療機関を受診する」と「新聞などを見て、休日当番医を受診する」となっている。



3. その他

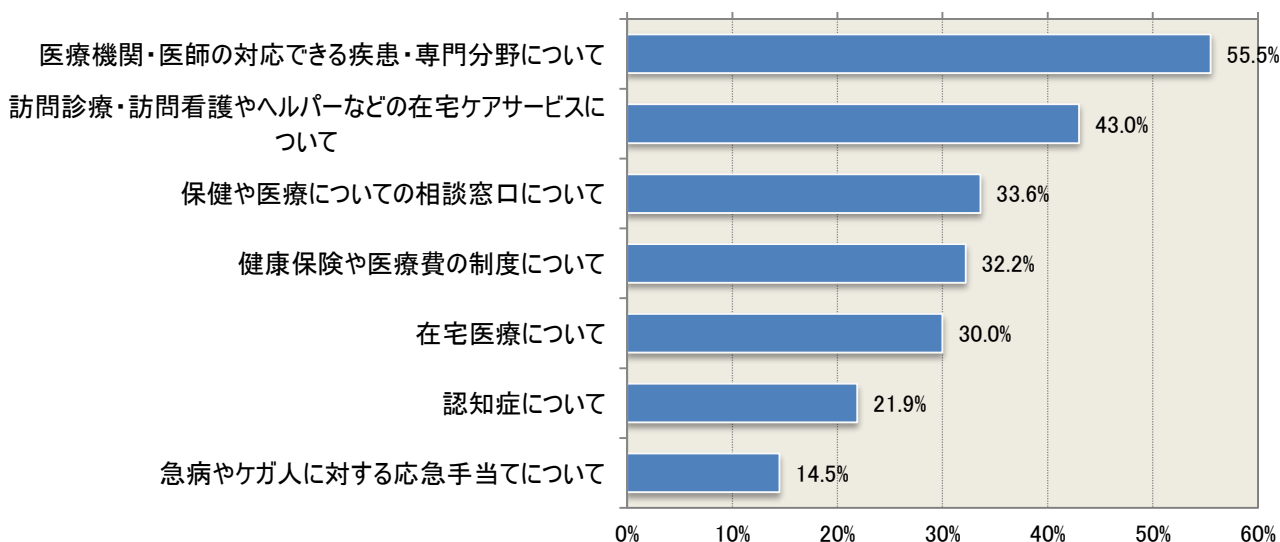
(1) 健康や医療・介護について相談できる人はいますか（複数回答）

- 全体では「親族」が7割近くで圧倒的に多く、次いで「医療の専門家（医師・看護師等）（33%）」、「友人・知人（29%）」などとなっている。また、「いない」と回答した人が12%いる。
- 年代が高くなるにつれて高くなる傾向が見られるのが「親族」、「医療の専門家（医師・看護師等）」、「ケアマネジャー」であり、逆に年代が低いほど高くなるのは「友人・知人」となっている。
- 「医療の専門家（医師・看護師等）」をはじめ、「ケアマネジャー」、「保健センター」、「地域包括支援センター」、「福祉事務所」などの専門職・機関を挙げた人の比率は、立科町で高くなっている。



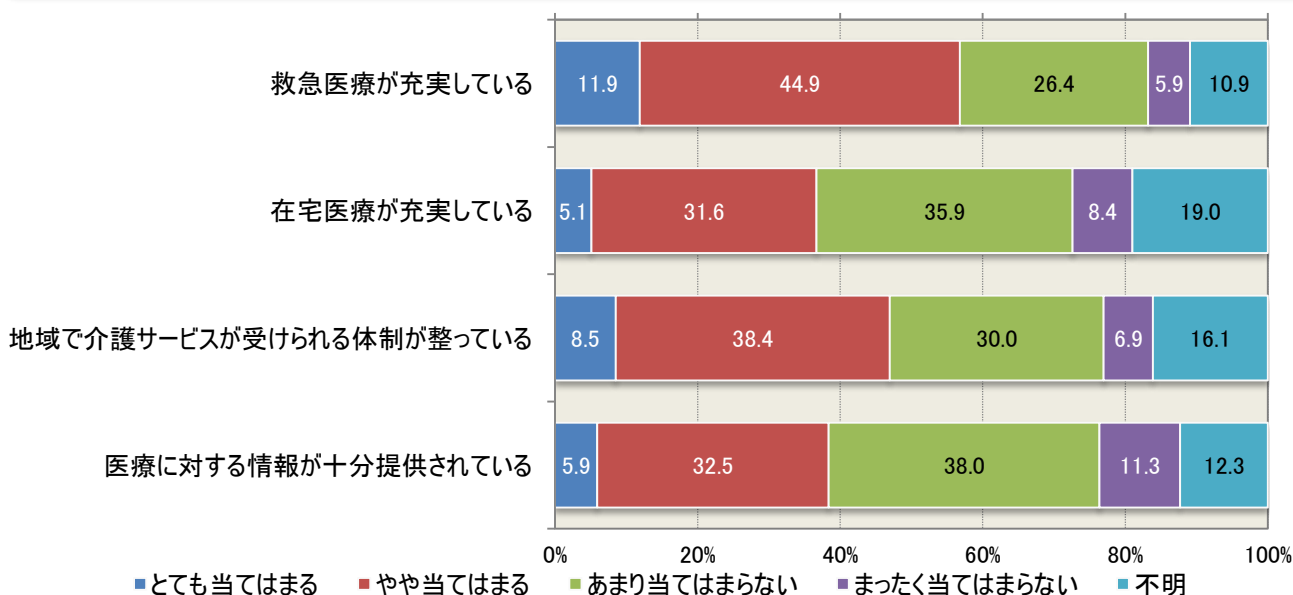
(2) あなたにとって必要な情報は何ですか (複数回答)

- 全体では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野について」が56%で最も多く、次いで「訪問診療・訪問看護やヘルパーなどの在宅ケアサービスについて(43%)」、「保健や医療についての相談窓口について(34%)」、「健康保険や医療費の制度について(32%)」、「在宅医療について(30%)」などとなった。
- 「保健や医療についての相談窓口について」と「健康保険や医療費の制度について」、「急病やケガ人に対する応急手当について」は年代が低いほど高くなる傾向が見られる。



(3) 各行政における医療・介護体制に対する評価

- 全体では、4つの項目の中で比較的评价が高いのは「救急医療が充実している」、「地域で介護サービスが受けられる体制が整っている」の2項目で、「在宅医療が充実している」と「医療(医療機関のかかり方、救急医療の利用、看取りなど)に対する情報が十分提供されている」については点数がマイナスとなり、評価が低くなっている。
- 全般的に、年齢が低いほど評価は低く、年齢が高くなる程評価が高くなる傾向がある。また、在宅医療に関心がある人や関わりのある人ほど評価が高くなっている。



①救急医療が充実している

	件数	(全体)%	(除不)%	点数
とても当てはまる	210	11.9	13.4	17.2
やや当てはまる	789	44.9	50.4	
あまり当てはまらない	465	26.4	29.7	
まったく当てはまらない	103	5.9	6.6	
不明	192	10.9		
計	1,759	100	1,567	

②在宅医療が充実している

	件数	(全体)%	(除不)%	点数
とても当てはまる	90	5.1	6.3	-6.7
やや当てはまる	556	31.6	39.0	
あまり当てはまらない	632	35.9	44.4	
まったく当てはまらない	147	8.4	10.3	
不明	334	19.0		
計	1,759	100	1,425	

③地域で介護サービスが受けられる体制が整っている

	件数	(全体)%	(除不)%	点数
とても当てはまる	150	8.5	10.2	6.9
やや当てはまる	676	38.4	45.8	
あまり当てはまらない	527	30.0	35.7	
まったく当てはまらない	122	6.9	8.3	
不明	284	16.1		
計	1,759	100	1,475	

④医療（医療機関のかかり方、救急医療の利用、看取りなど）に対する情報が十分提供されている

	件数	(全体)%	(除不)%	点数
とても当てはまる	104	5.9	6.7	-9.2
やや当てはまる	572	32.5	37.1	
あまり当てはまらない	668	38.0	43.3	
まったく当てはまらない	198	11.3	12.8	
不明	217	12.3		
計	1,759	100	1,542	

Ⅲ. 医療・介護関係者アンケート集計結果(概要版)

(1) 業種別集計

1. 訪問診療や往診、訪問薬剤管理指導の取り組み状況(単数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師	病院関係
行なっている	66.7	73.9	51.3	75.0
検討中	9.5	0.0	0.0	0.0
今後条件が整えば行いたい	4.8	13.0	46.2	0.0
行っていない(今後予定もない)	19.0	13.0	2.6	25.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0

注) は当該項目について最も比率(点数)の高い職種を、
 は当該項目について最も比率(点数)の低い職種を示す(以下同様)

2. 多職種連携が進んでいない理由(複数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師	病院関係	訪問看護師	ケアマネジャー	介護サービス
介護や福祉の制度がわからない	44.4	47.6	23.1	25.0	75.0	0.0	0.0
お互いに多忙で連絡がとれない	50.0	38.1	46.2	100.0	0.0	61.5	42.1
個人情報保護の観点から情報が共有されない	33.3	28.6	20.5	25.0	0.0	15.4	26.3
交流の場がない	27.8	33.3	38.5	50.0	75.0	61.5	50.9
誰と連絡をとればいいのかわからない	5.6	47.6	38.5	25.0	25.0	15.4	29.8
介護従事者の医療に関する知識や理解が不足している	11.1	33.3	20.5	0.0	25.0	46.2	52.6
その他	16.7	4.8	7.7	0.0	0.0	23.1	21.1
計	188.9	233.3	195.0	225.0	200	223.1	222.8

3. 多職種連携を進めるために必要なこと(複数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師	病院関係	訪問看護師	ケアマネジャー	介護サービス
事例検討会、研修や交流会をとおした顔の見える関係づくり	44.4	61.9	64.1	50.0	100.0	78.6	80.6
ICT(情報通信技術)を活用したタイムリーな情報のやりとり	33.3	33.3	35.9	100.0	25.0	35.7	17.7
多職種をコーディネートできる人材の育成	77.8	61.9	59.0	50.0	0.0	42.9	45.2
医療・介護の知識や制度、各職種の専門性の相互理解のための研修	33.3	81.0	41	0.0	100.0	64.3	53.2
その他	0.0	4.8	5.1	0.0	0.0	0.0	4.8
計	188.8	242.9	205.1	200.0	225.0	221.5	201.5

4. 多職種連携における認知症特有の課題(複数回答/割合)

%	医師	歯科 医師	薬剤師	病院 関係	訪問 看護師	ケアマネ ージャー	介護サー ビス
認知症対応の医療機関や介護サービスの情報が不足	52.9	55.0	48.6	25.0	75.0	42.9	46.8
医療機関や相談機関、介護サービス事業者とのコミュニケーションの場が不足	41.2	60.0	37.8	50.0	50.0	50.0	62.9
早期発見、早期に医療や介護につなげる必要性の理解が不十分	29.4	30.0	45.9	50.0	25.0	50.0	58.1
老老世帯やひとり暮らしの方等、当事者の意思決定を支えるしくみが整っていない	70.6	55.0	56.8	50.0	75.0	71.4	56.5
その他	17.6	10.0	10.8	25.0	0.0	14.3	3.2
計	211.7	210.0	199.9	200.0	225.0	228.6	227.5

5. 多職種連携における終末期ケアの課題(複数回答/割合)

%	医師	歯科 医師	薬剤師	病院 関係	訪問 看護師	ケアマネ ージャー	介護サー ビス
本人や家族の明確な意思表示がない	29.4	40.0	28.6	50.0	25.0	58.3	41.4
ケアを支える介護力や周囲のサポートがない	70.6	25.0	28.6	50.0	50.0	33.3	50.0
終末期ケアを支える医療的ケアが不足している	58.8	55.0	20.0	50.0	25.0	75.0	48.3
本人や家族の願いと利用できる資源を結びつけるケアマネジメントが不十分	29.4	60.0	54.3	75.0	75.0	33.3	44.8
その他	17.6	5.0	20.0	0.0	25.0	16.7	10.3
計	205.8	185.0	151.5	225.0	200.0	216.6	194.8

6-1. 退院前(時)カンファレンスへの出席状況(単数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師	訪問看護師	ケアマネージャー	介護サービス
出席したことがある	4.8	4.3	20.0	100.0	100.0	90.3
出席したことがない	90.5	91.3	80.0	0.0	0.0	9.7
不明	4.8	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100	100	100	100	100	100

6-2. 退院前(時)カンファレンスへ出席したことがない理由(単数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師	訪問看護師	ケアマネージャー	介護サービス
病院から参加を求められたことがない	57.9	71.4	87.5	-	-	16.7
忙しくて参加できない	26.3	19.0	9.4	-	-	66.7
その他	10.5	9.5	0.0	-	-	16.7
不明	5.3	0.0	3.1	-	-	0.0
計	100	100	100	0	0	100

7. 介護保険制度及び介護サービスについての習熟度(単数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師	病院関係
十分理解している	9.5	8.7	2.5	25.0
やや理解している	57.1	26.1	62.5	75.0
あまり理解していない	28.6	39.1	30.0	0.0
全く理解していない	0.0	21.7	5.0	0.0
不明	4.8	4.3	0	0
計	100	100	100	100
点数	24.9	-20.4	13.8	62.5

8-1. サービス担当者会議への出席状況(単数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師
出席したことがある	33.3	8.7	47.5
出席したことがない	61.9	87.0	50.0
不明	4.8	4.3	2.5
計	100	100	100
点数※	-28.6	-78.3	-2.5

8-2. サービス担当者会議へ出席したことがない理由(単数回答/割合)

%	医師	歯科医師	薬剤師
ケアマネージャーから参加を求められたことがない	69.2	70.0	75.0
忙しくて参加できない	30.8	15.0	25.0
その他	0.0	10.0	0.0
不明	0.0	5.0	0.0
計	100	100	100

9. 患者の情報について、関係機関・職種への連携状況(単数回答/点数)

点数	医師	歯科 医師	薬剤師	病院 関係	訪問 看護師	ケアマネ ジャー	介護サー ビス
病院の医師・医療ソーシャルワ ーカー・退院調整看護師	0.0	-43.5	-52.7	—	25.0	50.1	13.8
主治医※1	—	—	13.6	62.5	100.0	25.0	3.5
主治医以外の診療科の医師※2	-15.0	-34.8	-71.7	12.5	-50.0	-62.6	-58.8
歯科医師	-47.5	—	-74.9	-87.5	-87.5	-68.2	-44.9
薬剤師	-17.5	-69.6	—	-37.5	-50.0	-25.0	-35.4
地域包括支援センター	-15.0	-77.4	-29.7	0.0	25.0	58.3	55.4
訪問看護ステーション	37.5	-61.4	-56.8	75.0	—	83.4	21.1
訪問・通所リハビリテーション	-42.5	-68.2	-77.8	-12.5	37.5	66.7	—
ケアマネジャー	15.0	-50.1	0.0	50.0	87.5	—	89.3
訪問介護(ホームヘルパー)	-47.5	-72.7	-66.3	-37.5	37.5	79.2	—
通所介護(デイサービス)	-36.9	-79.6	-77.1	-37.5	0.0	83.4	—
訪問入浴	-60.0	—	—	-75.0	-25.0	31.9	—
ショートステイ	-57.5	—	-79.8	-25.0	-25.0	45.9	—
福祉用具事業所	-75.0	—	—	-37.5	12.5	75.1	—
施設サービス	-57.9	-60.9	-57.0	12.5	-12.5	33.4	—

※1.病院関係の場合は「在宅での主治医」

※2.医師・歯科医師の場合は「他診療科の医師」、病院関係の場合は「在宅での主治医以外の診療科の医師」

10. 他機関との連携方法(複数回答/割合)

	医師	歯科医師	薬剤師	病院関係	訪問看護師	ケアマネジャー	介護サービス
電話	83.3	81.0	89.3	100.0	100.0	85.7	98.3
FAX	66.7	42.9	50.0	50.0	75.0	57.1	33.9
メール	5.6	4.8	3.6	0.0	0.0	21.4	5.1
直接面談	44.4	28.6	28.6	50.0	100.0	71.4	88.1
その他	11.1	14.3	21.4	0.0	0.0	28.6	8.5
計	211.1	171.6	192.9	200.0	275.0	264.2	233.9

